

ふくしまキッズ 2011年度活動報告会

～ 政治が動かないなら福島の子どもたちの支援の方法を市民が考えよう ～



2011年夏から冬、2012年春と、これまで一年の間に実施された2011年度の「ふくしまキッズ」の活動について、市民の皆様へ活動内容の詳細をご報告させていただき、市民の皆様とともに今後の活動について考え、今後の活動をどのようにしていったらよいかについて話し合いをさせていただきます。
報告会へ参加いただける場合は、会場整理の関係上、事前の予約をお願い申し上げます。
(申し込みの方法は裏面をご覧ください)

当日
詳細

■開催場所・日時

- ・日 時 2012年4月21日（土） 13時開場 13時30分～16時30分
- ・会場名 東本願寺大谷婦人会館大谷ホール（地図は裏面に掲載しております）
- ・住所 〒600-8164 京都府京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町215番地
- ・参加費 無料
- ・定員 600名

■報告会次第概要

- ・「ふくしまキッズ」ミニコンサート＆トークショー 中畠美代子・田口ランディ（詳細は裏面に）
- ・開会のあいさつ 進士 徹〔ふくしまキッズ実行委員会委員長〕
- ・一年間の活動報告
- ・支援者の方々からの提言 これらの活動やプログラムについての提言
提言者：門川大作（京都市長） 田口ランディ（作家） 寺脇研（京都造形芸術大学教授）
五百井正浩（真宗大谷派災害救援本部ボランティア委員会委員長） その他
- ・全体質疑応答

司会進行 吉田博彦 [ふくしまキッズ実行委員会副委員長]
当日の配布予定資料 活動報告書（活動の様子がわかる写真を展示します）

主催：ふくしまキッズ実行委員会 共催：東本願寺

【お問い合わせ】

子どもを守ろうプロジェクト協議会（ふくしまキッズ実行委員会の事務局です）

- 住所：〒060-0006 札幌市中央区北6条西25丁目3-35-210 NPO 教育支援協会北海道内
- TEL:011-643-3313 ■mail:info@save-our-children.jp ■URL:<http://save-our-children.jp>

福島の子どもの笑顔と元気応援プログラム
ふくしまキッズ実行委員会

ふくしまキッズ活動報告会

■会場案内・申込方法

東本願寺大谷婦人会館大谷ホール
〒600-8164
京都府京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町215番地
※京都駅徒歩10分・京阪七条駅徒歩7分

参加をご希望の方は、必ず事前の申し込みをお願いいたします。

▼申し込みフォームURL

<http://save-our-children.jp/0421>



▲申込フォーム
QRコード

▼FAX

(011)792-8834

・名前・住所・電話番号・年齢・所属団体
を明記のうえ送信ください。



■ふくしまキッズミニコンサート＆トークショー



中畠美代子

福島県福島市生まれ。基本的に主婦、シンガーソングライター。福島大学卒業後、ヤマハピピュラーソングコンテストなどを経て、福島でライブ活動。その後、結婚して弘前へ。三人の子の母として妻として主婦業に20年専念するも、2002年、再びギターを手にする。2011年6月、田口ランディさんの呼びかけに対して「ふくしまキッズ支援ソング」として「フクシマ」を作曲する。



田口ランディ

東京生まれ。2000年6月、幻冬舎より長編小説「コンセント」を出版し小説家としてデビュー。その後「アンテナ」「モザイク」を発表。初期の長編は三部作と呼ばれ、海外でも高い評価を得ており「コンセント」は英語、イタリア語、中国語、インドネシア語、ルーマニア語など多くの言語で翻訳されている。「コンセント」（中原俊監督）「アンテナ」（熊切和嘉監督）は映画化され、「アンテナ」は第60回ベネチア国際映画祭、第28回トロント国際映画祭正式招待作品となった。2011年5月ふくしまキッズの活動の呼びかけに共鳴し、支援委員として各方面に働きかけを行っている。

やっぱり、青森からkoyomiさんを呼ぼうか？

ランディさんのこの一言から始まったのがこのコンサートです。KOYOMIこと中畠美代子さんは、昨年の夏に「ふくしまキッズ」の活動がスタートするときに、ふくしまキッズの活動の支援ソングとして「フクシマ」を作曲し、送ってくれました。この曲が多くの方々の心の支えとなり、ふくしまキッズの映像に使われ、その映像と曲の一体感が多くの方々の心を動かし、支援の拡大につながりました。活動を担ったすべての方が会いたかった彼女に初めて会えます。

■主な発言者・提言者のご紹介



門川大作（京都市長）

現京都市長。徹底した「現地現場主義」をモットーに、全国のモデルとなる市政改革を進めている。長く教育行政にかかり、教育長時代は、一人一人の子どもを徹底的に大切にした、「地域ぐるみ」の教育改革に心血を注いた。



寺脇研（京都造形芸術大学教授）

元文部科学省審議官。偏差値追放などでミスター文部省と呼ばれ、「ゆとり教育」の推進者として知られるが、映画評論や落語の評論家としても活躍している。ふくしまキッズの支援委員。



五百井正浩（真宗大谷派災害救援本部ボランティア委員会委員長）

神戸市の玉龍寺住職で、阪神淡路大震災を経験している。昨年の東日本大震災以後、真宗大谷派の支援活動における中心的なリーダーとして活動している。